

シルバー とちのは

第44号

令和6年1月15日



第 44 号 目 次

- 新年のあいさつ 2
- 令和5年度連合会事業報告 3
- 県SC女性の会活動状況 5
- センター活動紹介 6
- 会員紹介 9
- お知らせ一覧 12





新年のあいさつ

理事長 鈴木正人

新年にあたり、御挨拶申し上げます。

令和6年は、元日の能登半島地震、2日の羽田空港における航空機事故と衝撃的なニュースが立て続けに飛び込んできました。

お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

2日の航空機事故では、機体が炎上する中、旅客機乗員の適確な判断、迅速な対応により、乗客・乗員378名全員が短時間で避難することができました。これは旅客機乗員が、高い使命感と責任感を持って、日頃から様々な条件下を想定して厳しい訓練を積み重ねてきたからこそその成果であると考えております。

シルバー人材センター事業を振り返って見ますと、各センターで活躍する会員の高齢化もあり、負傷事故や物損事故が増加しており、作業に携わる皆様一人ひとりが「安全な就

業」と「事故防止」に何が必要かを日々確認し作業に当たれるよう連合

会としても重点的に取り組んでいく必要があると強く感じたところです。また、シルバー人材センター事業においては、「会員の拡大」や

「就業機会の拡大」など、従来からの課題に加え、インボイス制度やフリーランス新法への対応、更には業務効率を図るためのデジタル化の推

進など、新たな課題も山積しており、先々を見据えた的確な対応が求められております。

当連合会としましては、各センターの円滑な事業展開が可能となるよう、これらの課題に向け積極的に取り組んで参る所存でおりますので、引き続き御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、シルバー人材センターに関わる全ての皆様の今年一年の御健康を祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

表紙写真に寄せて

公益社団法人 大田原市シルバー人材センター

大田原市湯津上地区では、市町村合併以前より侍塚古墳のこも巻きを地元の方々を中心に行っていました。合併後の平成17年度からは「侍塚古墳松守会」が結成され、引き続き活動を続けてきました。国指定史跡の侍塚古墳の墳丘上に生えている松の木は、徳川光圀が元禄5年に行った日本で最初の学術的発掘調査後の墳丘の保護に由来するものです。

「こも巻き」とは、江戸時代から行われてきた害虫駆除の方法で、マツカレハの幼虫を除去する方法のひとつです。マツカレハの幼虫は、冬になると地上に降り、落ち葉の中で越冬する習性を持ちます。そのため、10月下旬から11月上旬頃にマツやヒマラヤスギの幹に藁でできた「こも」を巻き付け、3月頃に「こも」の中で越冬したマツカレハの幼虫を「こも」と一緒に焼却処分します。

侍塚古墳には主に下侍塚古墳と

上侍塚古墳があります。「侍塚古墳松守会」は地元の小中学生約100人と共に下侍塚古墳のこも巻きを行っており、大田原市シルバー人材センターでは、上侍塚古墳のこも巻き業務を請け負っています。表紙写真では会員が二人一組になり、「こも」を巻き付けた後に、藁でできた縄を巻き付けていきます。こも巻きが行われた10月24日(火)は、とても天気が良くまさに秋晴れとなりました。就業した会員たちは、「この秋晴れの中で、大田原市の歴史ある行事にこういった形で携わることができて、とてもやりがいを感じている」とのことでした。

シルバー人材センターでは一緒に働く会員を募集しています。概ね60歳以上の健康で意欲のある方があれば会員になれるので、興味がある方は是非シルバー人材センター事務局までご連絡ください。

令和5年度連合会事業の進捗について

連合会では、「第一期中長期計画（後期計画）」に基づき、着実な事業の実施に努め、各事業において関係機関と連携した積極的な事業を展開してきましたので以下、令和5年度事業の実施状況を報告します。

会員拡大・普及啓発事業

会員拡大事業では、今年度の新規事業として、令和5年6月4日(日)に開催した「とちぎ健康の森フェス」に併せ、連合会独自イベント「シルバー人材センターまつり」を開催しました。

当日は宇都宮市及び真岡市、上三川町のシルバー人材センターとともに、来場者へチラシやパンフレットの配布、また、会員さんが独自事業や趣味で製作した編み物、小物、そして、ふくべ細工等の展示販売を行うなど、シルバー人材センターの普段なかなか見られないような活動を発信し、シルバー人材センターのイメージ転換を図るとともに会員相互の交流機会となりました。

次年度についても連合会独自のイベント等の開催を検討し、県内市町

のシルバー人材センターとともにシルバー人材センター事業の周知広報に努めていきます。

併せて、今年度は関係機関との連携を行い、栃木県庁や栃木県立図書館での展示を行うなど、新規周知場所の開拓に努めました。



▲シルバー人材センターまつりの様子



▲県立図書館展示の様子

安全・適正就業推進事業

会員の就業は「安全はすべてに優先する」ことを基本とし、事故の撲滅及び就業の法令遵守の推進を図っております。

今年度も7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業について、全ての会員、役員が、個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の実施を周知したところです。

加えて、連合会では令和5年度安全就業パトロールを、県内6カ所のシルバー人材センターを対象として実施しました。

主に除草や剪定など屋外作業の就業場所に、連合会職員とセンター役員で来訪し、就業環境や会員の安全装備の装着状況などの安全対策の確認を行いました。

また、夏季の屋外作業における熱中症対策についても就業中の会員へ声をかけ、適宜水分補給をす

るよう助言を行いました。

パトロール終了後にセンター役員の方々や安全就業への取り組みや事故防止に向けた意見交換を行い、安全就業の意識付けに努めました。



▲益子町 SC



▲塩谷町 SC

「安全は無理せず焦らず油断せず」

全国統一安全就業スローガン

就業開拓推進事業

要請活動

令和5年8月22日(火)及び29日(火)の2日間にわたり、栃木県知事及び栃木県議会議長などの行政機関と商工関係団体等12ヶ所を訪問し、要請活動を行いました。

訪問先では、全国シルバー人材センター事業協会の令和5年度定時総会で決議された要望書及び当連合会の要望書を手交し、地域社会に貢献するシルバー人材センタ



▲栃木県保健福祉部岩佐部長に対し、栃木県知事あて要望書をお渡ししました。

―事業の趣旨や意義について、より一層理解を深めていただくとともに、インボイス導入後の安定的な事業運営について支援、協力を要請したところです。

派遣会員2年目講習

派遣会員のスキルアップとして、就業開始から1年を経過した派遣会員を対象に県内7箇所で開催したフレイル講習及びフレイル予防講座を実施しました。

(計8回12名参加)



▲フレイル予防講座の様子

高齢者活躍人材確保育成事業

栃木労働局から本事業を受託し、シルバー人材センターについての積極的な周知・広報や「就業体験」「技能講習の実施」などを通じて、センターへの新規入会の促進、企業・一般家庭等からのセンター活用の増加に向け活動しています。

① 周知・広報

シルバー人材センターについてより多くの方に関心を持っていただくため、新聞、広報誌、折込チラシ等を活用し、「会員の募集」「仕事のご依頼」「就業体験」「技能講習」の開催案内など各種情報をお知らせしています。また、当連合会や栃木県のホームページへの掲載、県庁展望ロビー等での掲示なども行い、広く県民の皆様へ周知されるよう取り組んでいます。

② 就業体験・技能講習

センターに入会し、就業を希望する60歳以上の方を対象に、県内

14ヶ所で実施した就業現場の見学や体験については、(8〜12月までの5ヶ月間に)計60名超の申し込みがありました。

また、就業の基礎知識を学び関心を高めてもらうための技能講習では、「接遇・マナー」「学童保育支援」「整枝・剪定」「刈払機安全取扱」「襖・障子張り」「ハウスクリーニング」の6講習を延べ16回実施し、会員も含め計270名超の申し込みがあり、盛況でした。



▶技能講習／襖・障子張り

栃木県シルバー人材センター女性のお活動状況

「女性の会」代表 関根 浩子



女性の会の発展に向けて

「女性の会」の発足から3年が経過しています。

これまで、先進事例の視察などの活動を行いました、

大きなものとして、本年2月に3日間にわたり、商業施設であるアピタ宇都宮店を会場として「いきいきシルバー展示即売会」を開催しました。

これは、多くの会員が仕事以外にも楽しく活動している姿を紹介し、県民にシルバー人材センターのイメージアップを図るものです。特に女性会員ならではの活動を知っていただくことで、会員拡大に繋がっていくため、会員作品の展示や、制作品の即売会を実施しました。

多くの会員にご協力いただき、展示コーナーには素晴らしい絵画や手作り作品のほか、力作の陶芸が並び、即売コーナーでは手の込んだバッグやブローチ、手作りワンピース

などが出品されました。会員が早朝から打った生そばも人気を集め、三日間で約千五百人を超える方々にご来場いただき、販売実績も含め大盛況のうちに終了しました。

令和5年度に入り、新たに県内3つのシルバー人材センターが女性の会に加わり、意見交換の幅も一段と広がり、今年度どのような活動ができるのか話し合いを重ねてきました。

折しも、県内日光市内において、G7の男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催され、女性活躍の推進に関する機運の高まりもあって、さまざまな提案もありましたが、やはり展示即売会の開催が有力案となりました。

その実施に向け、開催時期や県内全域の会員や県民が来場しやすい会場等について話し合っていますが、施設によって、展示のみで即売会は不可、利用可能でもスペース

的に場所は屋外など、課題があります。

今後、会員や県民の皆様が興味を持って来場していただけるイベントとなるよう調整したいと思しますので、開催の際には、会員の皆様のご協力と、多くの方々のご来場をお願いいたします。

このような活動を通じて、シルバー人材センターが県民の中でより大きな存在となり、特に多くの女性の出会いと活動の大切な場所となることを切に願うものです。



▲展示即売会の様子

令和5年度栃木県シルバー人材センター連合会表彰

～受賞されたセンター／会員の皆さんおめでとうございます～

センター表彰

- 公益社団法人栃木市シルバー人材センター
- 公益社団法人真岡市シルバー人材センター
- 公益社団法人茂木町シルバー人材センター

全シ協第2次100万人計画目標会員数(栃木県)の達成率が、95.0%以上の基準に該当したセンターを表彰しました。

会員表彰

県下センター51名

会員歴20年以上かつ他の模範として実績があった会員を対象に表彰しました。



センター活動紹介

公益社団法人

宇都宮市シルバー人材センター



宇都宮市

餃子やカクテル、ジャズの街として知られる宇都宮市に、令和5年8月、新しい交通手段として、JR宇都宮駅東口から清原工業団地を通り、芳賀町の本田技研北門までをつなぐ次世代型路面電車「LRT」【愛称：「ライトライン」】が開通しました。

宇都宮市シルバー人材センターでは、現在、1,400名を超える会

員が、施設管理や除草作業、屋内作業、筆耕、家事援助、独自事業など、さまざまな分野で活躍しており、ライトラインをはじめ、県の玄関口として新たに開発され、都市型ホテルや大型の商業施設が立ち並び、宮みらい地区にある市営駐輪場でも、当センターの会員が施設管理業務を行っています。

駐車場管理

当センターでは、平成18年度から指定管理者として市営駐輪場の管理を行っており、現在10ヶ所を約170名の会員で運営しています。

中でも、JR宇都宮駅東口第2自転車駐輪場は、自転車・バイクを合わせて2,500台以上を収容できる大型の施設で、現金の他、交通系ICカードの利用にも対応していま



▲ライトライン (宇都宮駅東口)

す。通勤・通学での利用が多く、朝夕は大変混み合いますが、会員は事故やトラブルの無いよう注意しながら、明るい笑顔で就業しています。

ちょこちゃんカフェ開催

令和5年7月18日(火)、女性部会の企画イベント「ちょこちゃんカフェ」を初開催しました。女性会員の拡大を主な目的とし、当日は18名の参加がありました。

女性会員を囲んで行われた座談会では、就業内容や仕事のやりがいについてなどの話の他、参加者からのさまざまな質問に答え、和気あいあいとした雰囲気の中で、大いに盛り上がりました。会場では、センターの活動を紹介するパネル展示の他、編みぐるみや手作り石鹸の販売も行いました。



▲JR宇都宮駅東口第2自転車駐輪場



▲ちょこちゃんカフェ

センター活動紹介

公益社団法人

足利市シルバー人材センター

設立40周年を迎え

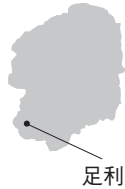
足利市シルバー人材センターは、令和4年度に設立40周年を迎えましたが、コロナ禍の折、縮小したものはなりましたが、会員表彰や記念誌の発行等を行い、記念事業といたしました。

女性部会の取組み

一方、全国シルバー人材センター事業協会や各県の連合会でも重点事項として取り組んでいる女性会員の増強については、令和2年12月、女性部会シルモアを発足し、入会促進や活躍の場の拡大に繋がる活動を始めました。

令和5年度になると、コロナ禍も徐々に収束局面に向かいつつあり、様々な行事も通常どおり行うことができるようになりました。また、事業実績においても回復の兆しが見え始め、前年同月を上回ることで増えてきました。

そのような状況の中、多くのセンターと同様に、会員不足の解消は重要な課題の一つとなっています。特に植木・除草などの技能職や外仕事の会員不足は深刻で、さらに夏の猛暑により進捗に支障をきたし、多くのお客様にご不便をおかけしている状態です。



足利市

普及啓発促進月間の活動

10月の普及啓発促進月間の行事も、中止することなく行うことができました。国宝**鑿阿寺**境内での清掃奉仕活動では、64人の会員が参集し、青空の下落ち葉掃きやごみ拾いを行いました。

また、役職員によるショッピングモールでの街頭PRを4年ぶりに行いました。今回は、初めて土曜日に行ったため、いつもより多くの市民の方に話を聞いていただくことができました。

それらの成果なのかはわかりませんが、翌11月の入会者は16人と、この時期としては大変珍しく多くの入会者を得る事ができました。



▲街頭PR活動の様子

中長期計画の策定

回復の兆しが見えてきたとはいえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は計り知れず、センター事業は極めて大きな打撃を受けました。当センターでは、5年間でコロナ前の水準に回復させることを目標に、今年度中長期計画を策定し、スタートしました。

インボイス制度の開始、フリーランス法の制定に伴う契約方法の見直し等、課題は山積みですが、会員、役員及び事務局が一丸となって取り組んでいきたいと思えます。



さらに今年度、お守り袋の作製の内職仕事を受託し、シルモアメンバーを中心に就業しています。根気のい

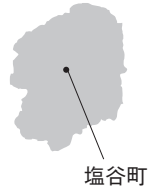


▲清掃奉仕活動の様子

センター活動紹介

公益社団法人

塩谷町シルバー人材センター



塩谷町

県内に25市町ある中、人口が1番少ない町が本町で県北地区に位置しています。人口9千人台の現在、町民5人の内2人が65歳以上で占められ、出生数も年々減少化の一途をたどり、空家も増加傾向にあり過疎化が進んでいます。町の東南には利根川へと流れ込む一級河川鬼怒川があります。大企業も少なく、農業、林業を中心とした農村地帯です。地場産業としては正月飾り用のしめ縄作り、スプレー菊をはじめとした菊の栽培が盛んで、都内を中心に首都圏に出荷されています。

町の名所の一つにもなっている、大平崎公園の中腹に建つ自然休養村センターの一室に事務所があり、5名の職員(正規3名・嘱託2名)で事業実施に関連した業務を分担し、日々の業務を遂行しています。

一方高原山の中腹に位置する「尚

仁沢湧水」は、全国名水百選にも選ばれ曜日を問わず、ポリタンク片手に県内外から多くの家族連れの人達が水汲みに訪れています。湧水で作った麦茶などは絶品の味でまろやかさは群を抜いています。一度訪れてみる価値は十分あると思います。

事業内容

「健康」「安全」「協調」の3本を基本理念とし、シルバー人材センター事業を実施しています。

主な作業として田、畑、休耕地等の草刈り・敷地内、ハウス内、寺院等の草取り・剪定・伐採(伐採については、樹木の太さ・高さに制限有)・空家等を含めた清掃、障子・襖・網戸の張替え、公共機関並びに会社関係からの依頼作業、ごみ収集業務等を行っています。

上記の項目以外に、夏、秋、初冬に行つ、コリーナ矢板の約130区画のきつい勾配の草刈り(お客様の要望に沿い集草・搬出も対応)作業は当シルバー人材センターの特徴の一つです。

7月、8月の真夏日には、熱中症が多発する時期でもあります。職員が交替で作業現場に向き、会員の健康状態の確認を行っています。年々暑さが厳しさを増す中、就業時間についても一考の余地が必要だと思つています。

また、毎年10月には会員から参加者を募り、出席可能な会員を対象に矢板警察署署員による交通安全講話、並びに奉仕作業を半日程度実施しています。終了後に配られる弁当を会員同士が一緒に食べて、談笑している光景を目のあたりにすると「微笑ましさ」さえ感じます。さらに年2回会員から選出された5名の安全就業委員により、チエック票を基に作業現場のパトロールを実施し、ヘルメットの着用、足回り等の確認などを行っています。

全シ協、県シルバー人材センター

の重点施策の一つである会員増加に関しては、不定期ながらA4版の手製によるチラシを活用し、町内各班を回覧しシルバー人材センターの近況報告と共に募集掲載の記事を載せ、会員拡大を図っています。

発注者(特に町内在住者、町内で操業する会社、官公庁)がいての会員・・・。会員がいてのシルバー人材センター・・・。常に地域に密着したセンターであることを念頭に置きながら。



会員紹介

公益社団法人真岡市シルバー人材センター

佐藤 恵保さん



▲障子襖張作業の様子

当センターで活躍されている佐藤恵保さんをご紹介します。
佐藤さんは、地元の真岡市役所を定年退職されてから、平成27年4月に真岡市シルバー人材センターに入会されました。

入会から現在まで、手先の器用さを生かし、以前の職業とは全く畑違いの仕事である襖・障子張り作業班のメンバーとして就業されてきました。現在では作業班のリーダーとして、また、今年度

からは当センターの理事として活躍されています。市役所在籍中には、派遣職員として当センター事務局の次長を務めていた経験もあることから、シルバーの内情をよく理解されていることもあり、センターの活動・運営に対する助言、提案等のご指導をいただいています。

奥様の敏江さんもシルバー会員として、広報誌などの仕分け業務の就業をされており、ご夫婦でセンターに貢献していただいています。

シルバーの就業のほかでは、山登りの趣味を持っておられ、就業の合間にはご夫婦で山登りを楽しまれています。恵保さんは日本百名山を踏破され、敏江さんも百名山の91座を終了されるなど、就業と趣味を両立しながら人生を楽しんでいらっしやいます。お二人日々、子育てを終わるころから始めた山登り。苦勞して登頂した後の山頂からの景色や地上では会つことのできない高山の花々、秋の紅

葉、冬の雪と青空。山でこそ見られる風景に心を癒されているという。また、足腰を鍛えているおかげで、シルバーでの就業も苦にならないとにこやかにおっしゃっていました。

これからもご夫婦で、シルバー会員として健康・安全第一で活躍されることを期待しております。



▲ご夫婦で（大雪山系緑岳）

会員紹介

公益社団法人 壬生町シルバー人材センター

河野美佐子さん



▲ふくしまつりでの販売の様子

壬生町シルバー人材センターの河野美佐子会員を紹介いたします。

河野さんは、独自事業「シルバーファーム」に興味を持ち、令和4年4月に入会しました。

河野さんにお聞きしたところでは、もともと、販売員の仕事をしていた、農業の経験がほとんどなく不安な気持ちの中、スタートしました。最初は「野菜を収穫できればいいかな。」採れても自分で少し食べることができれば良いな。」と思っていて、目標は「売れなくても野菜を出荷すること」でした。

先輩の会員さんや、畑を借りている地主さんからアドバイスを受け少しずつ収穫し、目標の出荷もすぐに達成できました。直売所ではじめて野菜を陳列した時の嬉しさは忘れられないとのこと。そして、出した野菜は飛ぶように売れ大

盛況でした。さらに、特技のフラワーアレンジメントや花の寄せ植えを活かして、シルバーファーム事業フラワー部門を新設し、こちらも、直売所で販売し大盛況となりました。

10月下旬に開催された「壬生町健康ふくしまつり」でも、野菜・花の販売を行い、あつという間になくなってしまう野菜があり、急遽、追加で収穫販売しました。

これからも多彩な才能を仕事にし、輝いている河野さんに益々の活躍を期待しています。



▲総会時に壇上花を作成していただきました

会員紹介

公益社団法人 那珂川町シルバー人材センター

おおがねりょういち
大金良一さん



▲障子襖張作業の様子

那珂川町シルバー人材センターで活躍されている大金良一さんを紹介します。大金さんは退職後、センターの広報誌を見て『自宅の障子張りをもっと上手にできないものか？知識を広めたい』との思いから、平成14年にセンターに入会。その後、襖・障子張りの技能講習会を受け、基礎知識や技能の

基本を学びました。その後、数多くの障子・襖・網戸張替作業に従事して21年間、今では職人の域に達し、棧や組子など困難な修理を伴うものや、仕事の段取り、後継者の育成等に尽力してくれています。平成25年から理事として3年間活躍し、センターの発展に貢献さ

れ、また、今年度は連合会より会員表彰を受け、『生涯現役』を賞と力強さを感じます。

現在の趣味は、仲間と共に行う週に一度のグランドゴルフと、手先の器用さを活かした菊等の盆栽

や『オキナワスズメウリや美男力ズラ』等の珍しい花の栽培、また平成28年にセンターに入会された奥様と共に、沢山の品種の美味しい野菜作りを楽しんでいるとのことでした。仕事も趣味も全力で取り組む大金さん、これからも益々活躍していただきたいと思います。



▶美男力ズラ



▲オキナワスズメウリ



▲野菜作りを楽しむ大金さん

お知らせ

いきいきシルバー作品展示即売会の開催

栃木県シルバー人材センター女性の会では、(公社)日光市シルバー人材センターと共催により、女性の会に所属するセンター会員等が製作した、小物やアクセサリ、洋服等の展示販売を行う作品展示即売会を開催します。御家族揃って是非お越しください!!

開催日時 令和6年3月3日(日) 10:00~15:00
場所 (公社)日光市シルバー人材センター 日光市今市 1659-10 日光市生きがいセンター
共催 栃木県シルバー人材センター女性の会 / (公社)日光市シルバー人材センター



とちぎ生涯現役シニア応援センター(ぷらっと)

ぷらっとは、下記の事業などを通じ、シニア世代の社会参加活動を応援します!

1. 相談事業

シニアの社会貢献活動や生涯学習などに関する案内や関連情報を提供します。

2. やってみっぺいちご隊の募集・登録

元気に活躍しようとするシニアを募集・登録し、いきいきと輝くシニアの魅力を発信します。

申込みは、ぷらっとのホームページからも出来ます。

URL: <https://www.senior-ouen-p.ne.jp> ぷらっとのQRコード



3. ぷらっと通信(LINE)の配信

シニアの社会参加に係る県政、関係機関等の情報や健康づくり、旬のイベント情報などを配信します。

登録はこちらから



LINEのQRコード

【お問合せ先】

住所 〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森2階
(一財)栃木県老人クラブ連合会事務局内)

TEL: 028-623-1291 FAX: 028-621-4767

Eメール: shougaigneki-p@tochigirouren.or.jp

編集後記

新しい一年の始まりに、活力ある各センターの活動を紹介させていただきました。

今後もシルバー人材センターの魅力が少しでも多くの方に届きます様に情報を発信していきます。

最後になりますが、企画広報委員会並びに執筆していただいた皆さん、記事の作成の御協力ありがとうございました。

企画広報委員

- 松村 誠 委員長 (栃木県シルバー人材センター連合会)
- 山田瑠美子 委員 (宇都宮市シルバー人材センター)
- 和泉田憲吾 委員 (小山市シルバー人材センター)
- 鈴木 誠 委員 (大田市シルバー人材センター)
- 荒井久美子 委員 (那須烏山市シルバー人材センター)
- 高橋くみ子 委員 (益子町シルバー人材センター)
- 山崎 喜人 委員 (野木町シルバー人材センター)

ご存じですか? 「チエブクロー」

チエブクローとは・・・

シルバー人材センターのシンボルとしてセンターのイメージアップや多くの人に親しまれ、愛着が持たれるシルバー人材センターのマスコットキャラクターとして公募した「知恵袋」と「ふくろう」を合わせたキャラクターの名前です。



経験豊富な高齢者の知恵が集まるシルバー人材センターということを表しています。

公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会

〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森内

TEL 028-627-1179

<https://www.tochigi-silver.jp/>



連合会ホームページ

栃木県シルバー人材センター連合会

検索